

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972100477
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム やす
所在地	〒781-5601 高知県香南市夜須町坪井804-19
自己評価作成日	平成22年2月8日
評価結果市町村受理日	平成22年6月23日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pionikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972100477&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、入居者様の心身が落ち着き、安心して過ごせるように、日頃から、健康管理・掃除・洗濯等、健康・衛生環境の整備に努め、職員も、共に生活する者として馴染みの関係を築くよう心がけています。また、利用者が釣ってきた魚を料理して食べたり、ロバを飼っている民家を訪ねたり、小学校やボランティアとの関係づくり、また、正月には地元の神社へ初詣に行くなど、地域の中での暮らしを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、近くに海浜公園がある国道沿いに位置し、居間兼食堂、居室は南側の採光のよい環境にある。利用者は思い思いの場所でくつろぎ、散歩や買物、ドライブに行ったり、小学校の運動会の見学や地域の防災訓練など、地域の一員として交流している。職員は、利用者が安心して過ごせるよう、利用者一人ひとりに寄り添って支援している。また、言葉による拘束に関しても自己点検を行い、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。今後とも、地域資源の活用や家族の協力を得て、利用者を共に支え合っていく取り組みを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員と話し合っって理念を作り、ホールに見える所に掲示し、朝の申し送り時や会議時等で意識付けをしている。	法人理念をもとに、事業所独自の理念について職員で話し合い作り上げている。朝の申し送り時などを利用して理念を振り返り、利用者が安心して過ごせるよう支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩や買い物に出かけ近隣の方と挨拶を交わしたりしている。また、馴染みの美容院に来ていたり、行きつけの美容院へ行くなどの支援をしている。地域の行事や防災訓練に参加したり、小学校の運動会を見学するなど、地域の方々と交流に努めている。	町内会には加入していないが、地域の防災訓練に参加したり、小学校の行事等を見学するなど、交流している。また、散歩時や買物時には地域住民と挨拶し交流に努めている。	地域との接点としての町内会への加入について引き続き検討されるとともに、加入しない場合でも、地域活動の情報収集や交流手段の検討など、生活環境を克服して利用者本位に検討されることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方への勉強会には至っていないが、運営推進会議で認知症の研修報告を行ったり、研修内容を来訪者向けに見える所に掲示している。また、見学者や家族の相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回開催し、ホームの活動内容を報告して、質問や意見、指導を受け、サービスの向上に努めている。	事業所から、入居者の状況、運営状況、評価結果の課題等について報告し、参加委員からの質疑を受けるなど、双方向的な会議となるよう努めている。	評価結果への対応などプロセスも報告したり、災害対策など項目に応じて幅広く関係者の出席を依頼するなど、運営面で工夫し、今後、さらに運営推進会議を活用していく取り組みを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者とは、家族の悩み連携して取り組んだり、運営面での相談、指導を受けている。	運営推進会議を通じて、運営状況を理解してもらったり、事故報告やケアに当たったの相談、家族対応など必要に応じて連携するなど、日頃から協力関係に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修内容やマニュアルをいつでも見られるようにしている。また、朝の申し送り時に話し合い、職員全員が理解し取り組んでいる。	身体拘束に関する内外の研修や言葉の拘束に関する自己点検を行うなど、職員の理解を深め身体拘束をしないケアを実践している。玄関には施錠はせず、リスクについて家族にも説明し、外出傾向の利用者の把握と見守り支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加し、朝の申し送り時等に内容を話し合い、意識付けをしている。また、マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がおり、職員間でパンフレットを回覧したり、必要に応じて説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前の相談時に困っていること、疑問に思っていることなどを聞き、契約時には十分説明をし、疑問な点はないか確認し、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に苦情相談窓口と意見箱について説明し、また、日々の生活の中で意見や要望が聞けるように関係作りに努めている。意見要望のあった時は職員に周知し、サービスの向上に反映させている。</p>	<p>利用者の意見等は日々の会話の中から汲み取るようにしている。家族会はないが、来訪時は些細なことも話題にし、苦情や意見、要望等について対応等を記録し、職員で共有している。懇談会を前提に家族に行事への参加等を呼びかけているが、参加は少ない。</p>	<p>家族の意見、要望等を忌憚なく出してもらうことが運営上も大切であり、家族会の結成や家族同士で懇談する機会づくりについて、引き続き働きかけ、また、行事への家族の参加など、家族と共に支え合っていく運営を目指す取り組みを期待したい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング時や機会を捉えて随時職員の意見を聞くようにしている。また、連絡ノートに記入し、意見があれば話し合い、職員全員で取り組むように努めている。</p>	<p>朝の申し送り時のミーティングで職員の意見を聞くようにしている。職員から行事計画や勤務体制の見直し、休暇の取得など提案があり、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員が向上心を持って仕事ができるように人事考課を行うとともに、研修の機会も豊富に与え、資格取得に向け支援している。日常の関わりの中でメンタル面の相談にも乗っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部、法人内の研修について、計画的に受講する機会を設けている。また、研修報告を行い、職員で共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他の事業所の訪問や市主催の研修会を通じて、他のグループホームとの交流の機会を持ち、取り組みを学び、サービスの向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面接時に、困っていることや、心身の状態など把握し、本人の思いを受け止めるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の相談時に、家族の困っていること、要望、不安に思うことを聞き、家族との信頼関係が築けるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時は、ご本人の状況や身体の状態を見極め、適したサービスが受けられるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>洗濯物干しや洗濯物たたみを一緒にしながら、昔の話をしたりするなど、本人がこれまで経験してきた事柄など教えていただく機会を設け、職員と共に生活していく関係をつくっている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や手紙等で近況報告をしたり、行事への参加を呼びかけ、コミュニケーションが取れるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>行きつけの美容院の訪問美容や、以前住んでいた場所を訪問したり、いつでも知人、友人の方に面会に来てもらうよう依頼するなど、関係を継続するよう支援している。</p>	<p>入居時の面談や入居後の会話等の中で、馴染みの関係を把握し、理美容院の利用やかつて住んでいた場所の訪問、同窓会への参加など、関係を継続するよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関係性により配席を工夫したり、職員が話のきっかけ作りをしたりしている。一人である方に対しては、職員が寄り添い、孤独を感じないように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も家族の相談を受け、入院時はお見舞いに行ったり、電話等で状態を聞くなど、関係を継続している。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居当初に集中的に本人または家族より様々な話を伺い、希望や意向を把握している。また日々の生活の中でも本人の要望や希望の把握に努めている。意思疎通の困難な方に対しては、表情や言動により把握するようにし、また家族からも情報を得るようにしている。</p>	<p>日々の暮らしの中で、会話や表情、仕草から利用者の思い、意向の把握に努め、意思疎通の困難な利用者についても、職員同士で連携し本人本位の支援に取り組んでいる。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居相談時や入居時に生活歴を聞いている。入居後も生活の中で把握していくように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様々な家事作業など日々の生活の中で、心身の状態に応じて、できることを見極めるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その人らしく暮らせるように、本人や家族の意向を聞き、担当者や職員と話し合いながら計画作成を行っている。また、退院後などの状態の変化に応じて見直しもしている。	カンファレンスは、朝のミーティングの機会を捉えて効率的に行っている。介護計画の期間は長期6カ月、短期3カ月を基本としているが、利用者の状況に応じて、歩行訓練や訪問リハを計画に入れたり、見直し時期もその都度柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づいて日々のケアを実践し、その結果や気づきを記録し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月2回の往診、週1回の訪問リハビリを受けている。また、家族の事情に応じて通院介助や自宅への外出の援助など柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の協力を得て運動会を見学したり、行事の時にはボランティアに協力してもらっている。防災訓練時は地元消防の協力を得て行なっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医や希望する医療機関への受診はできている。また、協力医療機関への受診支援や月2回の往診を受けている。	本人、家族の希望に沿って、従来からのかかりつけ医や専門医に受診できるよう支援しており、家族の同伴を基本としている。受診結果について情報提供書により看護記録に記録し、共有している。また、入居時に家族の自由選択で協力医に切り替え、定期的に往診を受けているケースもある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、健康状態に応じて速やかな支援を行なっている。看護職が不在時は、常時連絡を取れる体制を取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は面会に行き、家族と連絡を取っている。また、医療関係者との情報交換を行い、早期退院に向けて相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重症化した時や看取りについて家族に説明し、入居者の状況に応じ家族と話し合っている。本人、家族の気持ちを大切にし、無理のない穏やかな生活が出来るように状態の変化について医師、家族と話し合っている。</p>	<p>入居時に看取り対応マニュアルについて家族に説明している。重篤になった利用者の家族に状況を説明し、同意を得て対応した事例があり、家族の意向を尊重し医療関係者と連携した取り組み体制ができている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応については看護師が随時指導している。また、緊急対応マニュアルを作成し、全職員に周知徹底している。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、防災訓練は消防の協力により年2回実施し、地域の防災訓練にも参加し、地域の方と協力関係が築けるように努めている。</p>	<p>消防署の指導のもと避難訓練を実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。地域の防災訓練に参加するなど関係を築くよう努めているが、車椅子利用者（10名）も多く、地域の協力体制を築くことが課題となっている。非常用食料等は準備されている。</p>	<p>災害時には地域住民の協力が欠かせないことから、日頃の顔つなぎや自主防災組織との連携など、働きかけの手法も検討しながら、引き続き、地域の協力が得られる努力を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者それぞれに合った声かけや対応によって、安心して生活できるよう配慮している。接遇に関する職場内研修を随時実施している。	人格の尊重、プライバシーの保護については、介護職員の基本的な素養として捉え、接遇研修などで周知している。本人、家族の希望で「チャン呼び」している例もある。なお、ポータブルトイレが居室に置かれたままになっている。	ポータブルトイレが数個、居室にそのまま置かれているが、目隠しをするなどプライバシーに配慮した取り組みを期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を把握し、生活の中で自分で決定できる場面を持つようにしている。入居者ひとりひとりに合わせた言葉かけをし、選択肢を示し、意思表示しやすいように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で入居者のペースを把握し、その方のペースを大切にし、また、希望に添えるように個別対応をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で身だしなみが整えられるように見守りし、行事や外出時はお化粧を楽しんでもらったり、行きつけの美容院への同行をする等の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりの好みを取り入れるように努めながら、天気の良い日や暖かい日は庭で食事をしたり、食欲が増すように支援している。調理はできる範囲で参加してもらっている。また、後片付けやテーブル拭きなどをしてもらい、感謝の言葉を伝えている。</p>	<p>利用者の嗜好等を把握し、食材は業者に委託しているが、時には庭で採れた野菜も食卓にあげている。利用者は能力に応じて、食事の準備、片付けを職員と一緒にしている。担当の職員は利用者と同じものを食べ、利用者の状況に応じて食事介助をしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>体調や義歯の状態により食物の形態を考慮している。水分は1日に1,300ml～1,500mlは摂れるようにし、呑み込みの悪い方にはゼリー状にしている。夜間は居室にお茶を置いている。食事は1,500kcal程度は摂れるようにし、また年1回は管理栄養士に指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、その人に応じた声かけや義歯の洗浄などを支援している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、日中はリハビリパンツから布パンツに変えて、トイレで排泄できるように支援している。</p>	<p>利用者それぞれの排泄パターンを把握し、日中は出来るだけトイレで排泄するよう誘導支援を行っている。夜間は尿取りパットを使用したり、ポータブルトイレを置くなど、利用者に応じた排泄支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩や体操で活動量を高めたり、食物繊維の多い食物を提供したり、また、適正な水分の摂取にも取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの要望に合わせて入浴している。拒否のある方は入浴剤を使用したり、言葉がけに配慮している。季節により菖蒲湯やゆず湯を楽しんでもらっている。	利用者の希望に沿って、2日に1回は入浴支援を行っており、時には入浴剤で雰囲気づくりの工夫をしている。入浴拒否のある利用者には、声かけなどを工夫して週2回は入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態により、昼寝の時間を取ったりしている。また、日中は活動的に過ごしたり、定期的に布団を干したり、シーツの洗濯を行い、気持ち良く休めるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人の生活記録にファイルし、職員全員が理解できるようにしている。薬の変更時は、その都度把握している。また、服薬チェック表を作成し、安全管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	花の手入れをしたり、魚釣りに行くなど、個々に応じた張り合いのある生活になるよう支援している。散歩やドライブに行くなど、気分転換ができるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	希望に沿って散歩やドライブ、暖かい日にはおやつを持って戸外に出かけたり、また、自宅や馴染みの場所へ出かけるように努めている。	利用者の希望に応じ、2～3人のグループで、散歩や買物、ドライブなどの支援を行っている。また、法人のバスを利用して、紅葉狩りや花見などに出かけ、ふるさと訪問なども定期的に行っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	小遣い程度のお金は預かるようにしており、本人の希望に応じて使えるように支援している。金銭管理マニュアルを作成し、領収書はご家族へ郵送したり、面会に来られた時にサインをもらったりしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	家族へ手紙を出したり、電話で話せるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や庭には花を植え、ホールには季節の花を活けたり、室内の照明を調整し、居心地良く過ごせる工夫をしている。建物は木材を多用し、装飾をベージュ色に統一し、落ち着いた環境を提供している。</p>	<p>食堂、居間は日当たりも良く、食卓、ソファ、畳のコーナーなど、コンパクトに配置され、季節に応じた飾り物や手作りのカレンダーなど、家庭的で思い思いにくつろげる共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールの隅にソファを置き、気の合った方同士で過ごしたり、椅子で一人で過ごせるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具、椅子、机を持って来ていただき、違和感のないようにし、また、仏壇や家族の写真等を持って来ていただくなど、安心して過ごせるように努めている。</p>	<p>各居室には、ベットや使い慣れた家具等を置き、家庭の延長となるよう配慮したり、利用者によっては家族写真や仏壇を置くなど、安心して居心地良く過ごせる環境づくりに配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレには「便所」と張り紙をしたり、居室入り口には赤いリボンで目印をつけるなど、認知力、理解力に応じた工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： (ゆり・すずらん)	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない